



令和4年度

きゅうしょくだより3月



秦野市立末広小学校



通勤途中の梅林の花が満開になり、春がそこまで来ていることを感じます。卒業や進級もうすぐですね。子どもたちの成長が一番輝いて見える季節を迎えようとしています。とりわけ大切な節目、そして新しい人生のステージへと踏み出す卒業生には、給食室からもエールを送りたいと思います。

給食週間が終わって



末広小学校では1月23日～1月27日まで給食週間が行われました。子どもたちに、食べ物のありがたさや大切さを知ってもらい給食に対する関心を高めることや給食に携わっている人に対して感謝の気持ちを持つことをねらいとして行いました。

今年度は給食の食材を納品して下さる納入業者の方の紹介を映像にまとめ視聴しました。八百屋さんの市場での競りの様子、お肉屋さんや魚屋さんが肉や魚を切り分けている様子、豆腐屋さんが豆腐を製造する様子などが流れ、各業者さんから子どもたちへのメッセージも流れました。視聴後は、調理員さんや納入業者の方に感謝の寄せ書きを書きました。今年度は秦野養護学校のみなさんも同じ映像を視聴し、寄せ書きを書いて末広小に届けてくださいました。

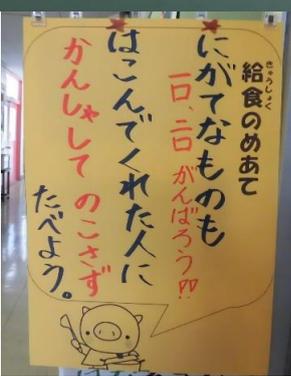
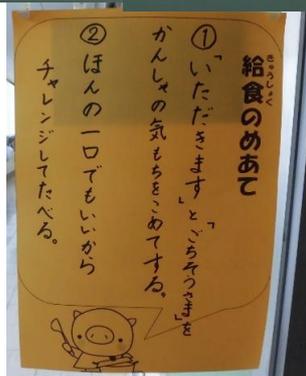
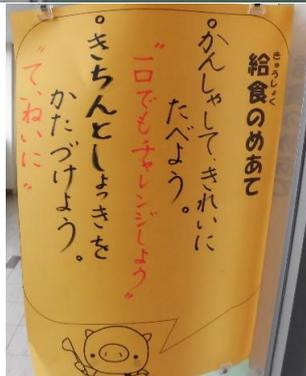
《1年生の視聴後の感想》

- ・重いものをたくさん持ってすごい
- ・こんにやくを一人で全校分作っている
- ・お魚は骨までとってくれている
- ・調味料屋さんは少ない人数でやっているのですごい
- ・給食を作っている様子も見たい
- ・がんばって運んでくれている人がいるので私もがんばりたいと思った。



この他にもクラスごとに自分たちががんばることを考え、めあてとして教室の入口に張り出しました。

給食委員会の児童は事前にとったアンケートの結果発表やクイズをしました。アンケートの給食の好きな献立調査では、結果が1月の給食に反映されました。



食べ物への感謝の気持ちや給食に携わる人への感謝の気持ちが養われる1週間になりました。これからも、「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつをしっかりと、感謝の気持ちを忘れずに食事してほしいと思います。